

平成31年度 事業報告書

(平成31年4月1日 ～ 令和2年3月31日)

1. 自立奨学支援事業

(1) 制度について

多くの子ども達が本財団の支援制度に期待している実態より、過去の実績並みの予算を確保し、定例枠 150 名に 2019 年度特別枠 50 名を加えた合計 200 名の支援とした。支援者を応募者数に合わせ、就職者と進学者を同一比率に選考支援した。

(2) 応募状況

9 月作成の「未来のつばさ自立奨学支援制度」応募要項を全国の児童養護施設、児童相談所、社会福祉協議会等へ発送し同様に財団ホームページに掲載した。応募申請は 11 月より受付を開始し、締切を 12 月 20 日とした。応募者数は自立（就職）希望者が 204 名、奨学（進学）希望者が 337 名、障がい児 52 名、合計 593 名を受理した。

2011 年度から 2019 年度まで累計して応募者数は 4937 人、支援者数は 1873 人、支援率は 38%となった。

(3) 審査体制

10 月 25 日開催された選考委員会にて選出された審査委員による第 1 次審査は審査員を 3 チームに分け、申請者 1 人に 3 人の審査員の平均点を評価点とした。

【1次審査】

チーム	構成員	審査期間	メンバー
A	財団関係者	12 月 11 日～1 月 20 日	5 名
B	協力員	1 月 6 日～1 月 28 日	4 名
C	楽天生命ボランティア	1 月 10 日～1 月 30 日	17 名

【2次審査】

審査日 : 令和 2 年 2 月 4 日

審査員 : 選考委員

(4) 選考結果

本年度は当初計画に 2019 年度特別枠 (50 名)、および「書き損じはがき」寄

付枠 3 名を加え、203 名を支援該当者とした。

支援区分	応募者数	支援者数	はがき枠	合計	支援率
自立（就職）	204 名	69 名	1 名	70 名	34%
奨学（進学）	337 名	114 名	1 名	115 名	34%
障がい児	52 名	17 名	1 名	18 名	34%
合計	593 名	200 名	3 名	203 名	34%

（5）アンケート調査報告書

2016 年度より実施している申請児童に対するアンケートでは、申請児童の現状、計画や不安なことなどのデータを集めることが出来た。今年度もアンケートを集計し、進路別、施設種別、男女別の割合をまとめてその結果を「応募者アンケート調査報告書」としてホームページに掲載した。

（6）「未来のつばさナビ」贈呈

2 年前より自立奨学支援制度の支援者を対象として贈呈を始めた「未来のつばさナビ」は好評を博し、今年度も 2018 年度支援者へ贈呈した。自立生活に役立つ情報を 32 ページの冊子にまとめたもので、10 月に対象者へ発送したほかに、今年度も引き続き財団ホームページに掲載した。

2. 団体向け支援事業

（1）事業の広報と推進

平成 31 年 2 月 18 日開催の諮問委員会にて実施要領を討議し、支援金額単位を 30 万円、支援件数を年間 12 件とし地域の少額な活動を対象とする特徴を出した。また、前期は当年事業、後期は当年事業または来年度事業とした。受付を 2 期（前期 4 月～5 月、後期 9 月～10 月）に分け受付を行った。この結果 11 件を受理し、10 件の支援を行った。

（2）選考（審査）

選考手順	審査責任者	審査方法
第 1 次（受付票）	事務局	実施要項規程の対象事業、申請条件の適正を確認し、所定の申請書関連書類の送付
第 2 次（審査票）	理事、監事	審査基準による審査で適合案件を全役員へ回送し、審査を仰ぐ
最終	理事会	役員審査により支援団体と支援金額の最終決議を行う。

(3) 支援状況

	No.	団体名	事業名または事業内容	交付金額
前期 178万 7000 円	1	社会福祉法人 新日本学園	児童養護施設版「生活安全感・安心感尺度」を活用した人権侵害予防活動を、希望のあった地方にある児童養護施設に導入を実施する。	30万円
	2	大阪府里親会 里親子支援機関 えがお	大阪府里親会の里親家庭（約150家庭）に対して里親サポート員（メンター）を派遣し、里親家庭の家事支援、育児支援、養育相談を行う。	30万円
	3	社会福祉法人 共 栄福祉会 福祉型障がい児 入所施設 若久緑園	知的障がいを持ち虐待を受け施設入所を余儀なくされ、外出経験の機会が乏しい子どもたちに富士登山の機会を提供するプロジェクト。	30万円
	4	特定非営利活動 法人 セイブアライフ	児童養護施設や小規模ホームに入所している子ども達に、学生ボランティアが1：1対応で学習と相談の支援を行う。また、進路部経験者が職業相談や資格、少ない負担の進学先・寮、業界動向などの紹介を行う。	28万7000円
	5	一般財団法人 教育支援グロー バル基金	児童養護施設に暮らす高校生約10名を対象とした人材育成プログラム「サマー・リトリート」（一週間の宿泊型研修）を開催する。	30万円
	6	ガリレオクラブ インターナショ ナル	神戸市内の8か所の児童養護施設で、マジックショー並びに子どもマジック教室を行う。	30万円
後期 100万 5000 円	7	一般社団法人 大阪市児童福祉 施設連盟 里親支援委員会	里親支援や子どもの発達に精通している講師をお呼びし、大阪市内の乳児院、児童養護施設に配置されている里親支援専門相談員に向けスキルアップ研修を行う。	15万5000円
	8	特定非営利活動 法人 神奈川フオスタ ーケアサポート プロジェクト	里子が里親家庭から社会に出る際に少しでも困らないようにスクーリングプログラムを実施する。	30万円

9	一般社団法人 全国養子縁組団体協議会	養子当事者を講師とし、児童相談所職員、養子縁組団体職員などの支援者、養親など養子の子育てを学びたい人を対象に、連続した勉強会を開催する。	30万円
10	認定特定非営利活動法人 Ocean's Love	障がい児入所施設の児童を対象としたサーフィンスクールを中心に1日ビーチで遊んだり学んだりし、同時にサポートをする一般ボランティアの方に知的障がいの理解を深めてもらうプロジェクト。	25万円

* N o 1 ~ 6 事業内容は広報誌「未来のつばさ (V o l . 2 8)」へ掲載

3. 広報活動事業

(1) 広報誌「未来のつばさ」

夏号を7月に、冬号を12月に発行した。計7600冊を、全国の児童養護関連施設、里親会、社会福祉協議会、行政の児童養護関連部署、児童相談所、寄付者（個人・団体）、団体向け支援事業の過去1年の支援団体、財団役員等関係者へ送付した。

(2) メールマガジン「つばさニュース」

「つばさニュース」は、登録者180名を超えた。2016年8月12日より毎月発行し、メールマガジン読者の投稿やキャンペーン応募者が増え、少しずつ読者参加型となってきた。メルマガ案内チラシを自立奨学支援制度の提出書類、広報誌、寄附金領収書等に同封し広報をすすめた。

メルマガ登録者数

	日付	合計		
		人数	キャンペーン応募者数	
			人数	累計
第33回	4月12日	157	2	18
第34回	5月10日	159	1	19
第35回	6月7日	160	1	20
第36回	7月12日	162	3	23
第37回	8月9日	164	1	24
第38回	9月13日	171	2	26
第39回	10月11日	173	1	27
第40回	11月8日	174	1	28

第 41 回	12 月 13 日	178	1	29
第 42 回	1 月 10 日	178	2	31
第 43 回	2 月 7 日	183	1	32
第 44 回	3 月 13 日	183	1	33

(3) オレンジリボン配布

子ども虐待防止のシンボルマークであるオレンジリボンを作製しオレンジリボン運動を応援する試みを行った。今年度も引き続き領収証に同封し寄付者へ発送した。

(4) その他

今年度も引き続き増沢理事にご協力いただき、事業と寄付についてのご案内パンフレット 2000 部を、子どもの虹情報研修センターで今年度行われたすべての虐待対応研修にて配布していただき、口頭でも財団の支援活動を広報していただいた。そのほか、各種データベース掲載更新や地域の広報誌の助成金情報掲載等、財団事業の広報活動を行った。

また、今年度より、トレーニングジム「エニタイムフィットネス」約 50 店舗にご協力いただき、財団案内パンフレット・オレンジリボンポスターを設置、書き損じはがきによる寄付をいただいた。

4. 組織運営

(1) 各種委員会開催状況

開催日	委員会名称	審議事項
5 月 16 日 5 月 24 日	会計監査会 第 1 回理事会	平成 30 年度事業及び決算報告の監査 ① 平成 30 年度事業報告書と決算報告（案）の承認 ② 新理事・監事候補者選出 ③ 評議員候補者選出
6 月 11 日 6 月 20 日	定時評議員会 第 2 回理事会	① 平成 30 年度事業報告書と決算報告の承認 ② 新理事・監事選任 ③ 新評議員選任 ① 団体向け支援事業 2019 前期最終決定の承認 ② 諮問委員の選任 ③ 選考委員の選出 ④ 理事長の選定決議
9 月 2 日	第 3 回理事会	財団名を騙る詐欺行為の現状と対策について
10 月 25 日	第 1 回選考委員会	① 2019 年度自立奨学支援制度の確認

		② 2019年度選考スケジュール確認 ③ 2019年度審査会設置承認
11月22日	第4回理事会	団体向け支援事業2019後期最終決定の承認
2月4日	第2回選考委員会	2019年度自立奨学支援応募の最終選考
2月13日	第5回理事会	2019年度自立奨学支援、最終選考の承認
2月21日	諮問委員会（事業計画・運営委員会）	令和2年度事業計画及び予算について
3月26日	第6回理事会	令和2年度事業計画及び収支予算の承認

* 審議事項は、主要な議案を記載した。

(2) ボランティア制度の確立

本年度も自立奨学支援制度の審査委員は多くのボランティアの尽力に助けられた。Bチームは延べ54名、Cチームは17名の協力をいただいた。

また、毎年行われている「書き損じはがき」収集活動も楽天生命保険株式会社の代理店の皆様を中心に26万円以上の寄付金となり、自立奨学支援の貴重な財源となった。今後も多くの方々へ呼びかけ、一般人参加の財団運営を目標としたい。

平成 31 年度 事業報告の附属明細書

平成 31 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

公益財団法人 楽天 未来のつばさ